

俳句コンクール成績発表

S 25 専電 塚越 としを

〔兼題…稲妻・虫・紅葉〕

【特選】落葉舞ふ木立の中に吾亦紅

S 39 学電 高崎芳紘

評 晩秋でしようか？侘びしい風情の中にふと見付けた吾亦紅。詩情が見事に表現されています。これが俳句、発見ですね。初投句で栄冠。

蝉声や遠い昔の吾と居る

S 47 学電 金坂潤

評 林の中の切り株に腰を下ろして降り注ぐような蝉時雨を聞いている作者、眼をつぶって子供の頃のあれこれを思い出しています。初投句です。

【佳作】また増えた空き家に繁し虫の声

S 39 学電 高崎 芳紘

(一)時世の話題ですね。虫は我が世の春を謳歌しています)

梅雨晴れや野外授業の子等楽し

S 47 学電 金坂潤

(長い梅雨が晴れて郊外に繰り出した生徒たち、その賑やかなこと) 名勝の紅葉や映ゆるいろは坂

S 30 学機 檜山 邦良

(まさしく日光ですね。季節感が出ています) 稲妻の横に走るや穂高岳

〃

(山男の作者しか味わえない大自然、これは壮観ですね)

露天風呂湯煙立てて紅葉山

S 38 学電 綿引 貞男

(秘峡の温泉場かな、身心大いにリフレッシュ致しましょう) 日本海を借景とせる紅葉かな

〃

(これも雄大、贅沢な旅でありましたね)

庭隅の虫一匹の風情かな

会友 平野 昌子

(庭の隅でかそかに鳴いている一匹の虫、それなりに俳句的) 地震の後人行かぬ道草紅葉

〃

(思い切なるものがありますね。草紅葉が可憐です)

稲妻の光り地球を串刺しす

穂坂芳子 (邦光氏夫人)

(正に凄い、素晴らしい。強烈な大自然ですね、詩的です) 紅葉谷胸に染み入る山の声

〃

(山の声は何でしょう？木霊かな、鳥語かな、声なき声か)

青虫の弓のごとくに葉物食ふ

S 38 学電 熊谷 文男

(良く観察しましたね)

松虫や暮るる夜空に癒やされて

〃

(静まりかえった夜空の下、虫の声に心を洗われています)

静かさや紅葉に浮かぶ山の寺

S 32 学金 穂坂 邦光

(古刹の大屋根が音なく紅葉山に浮かんでいるのでしょね) 虫の音の左右より迫り山の道

〃

(山道を歩いてゆくと一段と虫の音が、足音を忍ばせて行きます)

【選者吟】大吊橋紅葉まみれに架かりをり

としを

邯鄲や声を殺して寺の闇

〃

大池の鯉騒ぎ出す稲光

〃